

報告事項 平成 27 年度活動事業報告

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 介護保険法に基づく居宅サービス事業

1) デイサービス事業

○利用者の平均年齢＝（84.8 歳＋0.3 歳）（男性・84.7 歳 ＋2.2 歳、女性・84.8 歳 ＋0.1 歳）

○年間利用者数

利用者数	延べ 4,136 名	前年度(25 年度)4,070 名に対し <u>68 名増加</u> しました。
月平均	16.1 名	前年度(26 年度)15.9 名に対し <u>0.2 名増加</u> しました。

○デイサービス利用者数 45 名（前 26 年度より 7 名増。平成 28 年 3 月 31 日現在）

うち男性—7 名(+1 名)、女性—38 名(—8 名)

要支援—8 名(—6 名)

要介護—38 名(0 名) 介護 1 (24 名)介護 2(8 名)介護 3(4 名)

介護 4(1 名)介護 5(0 名)

コスモスの家ケアプラン—10 名(+1 名)

他事業所ケアプラン———35 名(—8 名)

○朝食利用者 113 食

○理美容利用者数 53 名

○ドライブ利用者数 118 名

(1) 利用者登録数は 60 名をめざしてきましたが、最高でも 55 名でした。

逝去された方 5 名、入院の方 4 名、入所の方 6 名となっていますが入院 4 名の方は全員その後入所されました

(2) 見学希望、新規依頼に関しても今年度は 13 件ありました。そのうち利用につながったものは 11 件、コスモスの家のケアプランでデイサービスを見学されず利用にされた方が 3 件です。

(3) 利用者平均も上半期は前年度に引き続き 16.3 名と安定していたこともあり、下半期 15.9 名と大きく減り、月平均 15.1 名まで落ちることもありましたが年間では 16.1 名と昨年度と比べ 0.2 名増加しましたが入浴利用人数が前年度より 151 名減少しました。

(4) 今年度から介護保険外の有料サービス（朝食、理美容、各種ドライブ）を実施しました。

(5) スタッフ数は前年度より 166 名減少しています。さらにはボランティアさんの高齢化、新しいボランティアさんの参加もあるのですが、参加人数が前年度より 46 名減となり、スタッフ一人に対する負担が増えています。

(6) 利用者の楽しみでもある、恒例のイベントは引き続き工夫して実施できています。

4 月 お花見ドライブ

5 月 バラ苑ドライブ

6 月 あじさいドライブ・ハーモニカ演奏会

7 月 七夕飾り

- 9月 コスモス祭り
- 10月 バラ苑ドライブ・保育園児交流会(ハロウィン)
- 12月 生田中学吹奏楽演奏会・ハーモニカ演奏会
- 1月 初釜

- (7) 今年度、非常勤スタッフが認知症の研修に参加しました。現在デイサービスの利用者数 45 名中認知症状のある方は半数以上近くいます。今後もスタッフに認知症研修の参加を勧めていきます。
- (8) 毎月一回のケア会議でケアの意見交換をし、自分のケアの見直しとともに技術の向上につなげていきます。また新年度の介護保険制度改定についての研修に参加しています。

2) ホームヘルプサービス事業

	ケース数 (名)	実績ヘルパー 数 (名)	総時間数 (時間)	身体介護型 (時間)	生活支援型 (時間)	予防介護 型 (時間)	保険外 型 (時間)
H26 年度	507	221	4.980 35分	1.786	1.519 45分	1.467 50分	207
H27 年度	455	217	4.758 45分	2.056 55分	1.499 40分	1.082 45分	146 30分
比較増減	-52	-4	-221 50分	+270 55分	-20 5分	-385 55分	-60 30分

1. 新規利用者が 12 名に対しサービス終了利用者が 7 名でした。総活動時間数は前年度の減少幅より少なくなりました。
2. 常勤 1 名、非常勤 1 名の体制で 8 月まで対応しました。9 月より常勤 1 名の体制で対応しました。
3. 多摩区訪問介護事業連絡会 第 4 回総会に参加をしました。
同事業所連絡会主催の研修に 3 回参加をしました。
4. 外部研修
 - ・一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会主催
「サービス提供責任者研修セミナー」
 - ・川崎市社会福祉協議会主催
「福祉職員向け現任研修 “認知症高齢者の医学的理解”
 - ・神奈川県社会福祉協議会主催
「サービス提供責任者現任者研修」
 - ・聖マリアンナ
「心筋梗塞セミナー」
 - ・ふるさと研修
「レビー小体認知症をめぐって」
5. 担当ヘルパーによるケース会議を 1 ケース実施しました。

**(2) 介護保険法に基づく居宅介護支援事業
ケアプラン作成事業**

	H27年度	月平均	前年度と比較	前年度比	
延べ	548	45	777	-229	0.70
要支援者	134	11	249	-115	0.53
要介護者	414	34	528	-114	0.91
新規	6		(15)	-9	
終了	9		(43)	-34	
(逝去)	2		(4)	-2	
(包括へ)	0		(14)	-14	
(引越し)	2		(1)	+1	
(入所)	4		(7)	-3	
(入院など)	8		(6)	+2	
(自立)	0		(1)	-1	

- 前年度と比べると、述べ人数は229名減っています。これは常勤1名、2日登録1名の状態がつづいているため、決められたケース数としてはいっぱい状態です。
- 今年度の入所者数は4ケースありました。そのすべてが独居の方で認知が進み在宅での生活が無理になり入所されました。
- 包括支援センターからの依頼で困難ケースも対応しています。家族、包括、行政、病院等と連携を取るケースもありました。
- ミニデイサービスは毎月第一木曜日で続けていますが、利用者数を増やすところまではいかず、4人前後の利用者参加になっています。
- 新規の依頼は前年度同様の地域包括支援センターからに加え、近くにコスモスの家があるからと相談に来て利用に結びつくことがありました。
- 通所介護、訪問介護との連携を図るため3事業所会議は引き続き行ってきました。
- 介護支援専門委員会や研修に参加し情報収集、スキルアップに日々努めています。

(3) 介護保険法に基づく介護予防サービス事業

(デイサービス事業、ホームヘルプ事業にて報告)

(4) 介護保険法に基づく介護予防支援事業 (ケアプラン作成事業にて報告)

(5) 川崎市「高齢者ふれあい型デイサービス受託事業」

有馬小学校ふれあいデイサービス事業 有馬コスモスの家

利用者のニーズをもとに、閉じこもり予防・介護予防を目的とし、健康管理、生活習慣の改善、健康づくり学習などもプログラムに組み入れ活動してきた。

開設15年目を迎え、事業評価分析と今後の方向性を考えるために、全員面接を試みた。

その結果、介護保険事業の隙間を埋める活動として「予防」の役割を果たしていることが確認できた。

(別紙資料:有馬小学校ふれあいデイサービスセンター事業評価か考える地域包括ケアのまちづくり参照)

○年間利用状況

実施回数	利用者実数			利用者人数	年齢内訳			
	男	女	計		60代	70代	80代	90代
242回	9	78	87	3693	3	40	39	5

- ・1日平均利用者数 15.2人
- ・平均年齢 80.5歳
- ・新規登録者数 19名
- ・退所者数 21名(退所理由:介護認定9名、自己都合8名、体調不良2名、転居2名)

利用者の平均年齢 80 歳の高齢となり、介護認定を受けざるを得ない方、その他の活動等で退所者は増加しているが、新規登録者も昨年より増加した。

利用者の家族状況

日中独居	一人暮らし	高齢者世帯	計
45	25	17	87

利用者の約 3 割が独居である。8 割の方が日中独居か一人暮らしで、外出の機会となっている

<年間の取り組み>

介護保険対象外の自立者を対象としているが、年齢 60 代後半から最高齢 96 歳の方の内容の平等化は難しいが、利用者全員が楽しい一日となるよう配慮し取り組んできた。

① 主に体を動かす：ストレッチ、散歩、ラジオ体操など

ストレッチローラー、ボールを使った筋力強化、セラバンド(ゴム)やペットボトルを使ったストレッチも定着し、好評である。

② 心と体を動かす：歌、リトミック、民謡、書道、絵画、ハンドチャイム、脳トレなど

③ バスハイク *春：羊山公園 40人 *秋：河口湖紅葉狩り 38人 (利用者負担)

④ 給食：毎月 1 回献立会議を開催し (栄養士と調理スタッフ) 栄養バランスよい昼食の評価は高い。

*栄養士資格あるスタッフによる給食施設申請と届出

⑤ 小学校との事業の交流・連携

・七夕集会(7月) マロンフェスタ(10月)書初め展(1月) 作品展(2月)、さつまいもパーティ
エコキャップやベルマークの回収協力 (ボランティア委員会・児童より)

・野菜の栽培：カボチャ、オクラ、トマト、ゴーヤなどの夏野菜の栽培(利用者参加し食膳に載る)

⑥ 健康・在宅医療等の学習及び連携

・最後まで自分らしく安心して暮らすために ～在宅医療について～ 全曜日実施

講師：宮前区保健福祉センター保健師、川崎市看護協会在宅医療サポートセンター等

・高齢者の栄養、歯科保健学習 講師：宮前区保健福祉センター栄養士・歯科衛生士

・尿漏れ予防 講師：白十字株式会社 2回

・転倒予防体操：富士見プラザ包括支援センター

・看護師による健康講話：テーマ「便秘予防」「ロコモ予防」等

(6) 独居又は病弱の高齢者等に対する給食宅配事業

1) 夕食宅配事業

配食数	5180食	前年度(平成26年度)に比べて492食増えました
-----	-------	--------------------------

○ プラン作成のなかで地域包括支援センター、ケアマネージャー、デイサービスからの紹介がありました。利用者からの紹介もありました。

○ 例年通り、死亡、入院、入所、転居等、利用者の著しい変化がありました。

(7) 高齢者及び中高年の中途障害者等を対象とする日帰り介護事業及び訪問介護事業

1) 宮前コスモスの家

絵の会	毎月第3木曜日	10回開催	参加者述べ	56名
-----	---------	-------	-------	-----

○ 絵の会を「グループ華」と名付け全員水彩画を学ぶようになりました。

2) 自由契約ヘルパー (ホームヘルプ事業にて報告)

(8) 高齢者の福祉に関する情報提供等の事業

1) 三田ふれあいセンターコスモスの家

(参加人数)

	昼食会	ヨガ教室	パソコン教室	健康麻雀 クラブ	オセロ & ティー	その他	合計(回数)
平成 25 年 度	9 2 9 (4 4)	1 7 0 (1 8)	2 8 5 (4 6)	1 2 1 6 (1 0 3)		4 8 (2)	2 6 7 1 (2 1 4)
平成 26 年 度	9 2 9 (4 4)	2 1 0 (2 2)	3 0 8 (4 4)	1 1 2 0 (1 0 2)		5 1 (2)	2 6 1 8 (2 1 4)
平成 27 年 度	8 4 2 (4 3)	1 8 8 (2 0)	1 9 1 (2 7)	8 8 9 (1 0 3)	7 (3)	5 3 (2)	2 1 7 0 (1 9 8)

その他(男の料理教室、ふれあいセンタ
ー交流会)

- 「ふれあいセンター通信」No. 3を発行しました。
ふれあいまつりと三田花見の会のチラシに活動の紹介を掲載し、配布しました。今後、地域住民の方が継続して活動に参加してもらえるように、定期的な広報の必要性が課題です。
- 各活動を横繋ぎにし、更なるネットワーク化を図るために「ふれあいセンター交流会」を10月3日(土)コスモスの家ケア室にて開催しました。
- 各活動において、ボランティアさんが中心的な役割を果たしていました。
- 平成28年1月より「オセロ&ティー」をはじめました。

2) 三田花見の会

日時 平成28年3月27日(日)午前11時~午後2時

場所 コスモスの家ケア室

主催 コスモスの家

内容 ハーモニカ演奏(ふれあいセンターハーモニカ愛好会)、東北支援物資の販売、
ミニバザー

参加者 約45名

(9) 児童福祉に関する保育事業

1) こすもす保育園

- 1 こすもす保育園は平成25年4月より25年度川崎市の「川崎認可外保育事業再構築基本方針」により川崎認定保育園B型となり定員25名の保育、子育て支援、一時保育など地域における様々なニーズに応えた子育て支援を行ってきました。

2 27年度保育児童数

月(日数)	ちゅーりっぷ組				すみれ組				合計
	0歳 (4名)	1歳 (9)	一時保育	計	2歳 (6)	3.4歳 (4)	一時保育	計	
在籍	3名	9名	1名	13名	7名	4名	1名	12名	25名
27年4月	51	150	12	213	124	73	21	218	431
27年5月	46	138	11	195	116	69	8	193	388
27年6月	79	176	15	270	139	78	11	228	498
27年7月	79	165	14	258	134	57	18	217	475
27年8月	60	141	12	213	108	44	16	181	394
27年9月	57	151	11	219	111	68	16	195	114
27年10月	81	175	14	270	150	76	23	255	525
27年11月	60	152	12	224	119	50	40	209	433
27年12月	63	148	11	222	135	30	22	187	409
28年1月	61	121	10	192	105	49	18	172	364
28年2月	67	160	13	240	123	54	21	198	438
28年3月	83	168	9	260	142	51	28	221	481
合計									5250

- 延べ人数5250人 前年度(26年度)5459人に対し209人減
一日平均22.0人

3環境整備・設備充当についての報告

- 常勤保育士2名確保でシフトが安定。
- 恒例になっている水曜日の畑での地域の方との野菜作りを楽しみ食育につながる。
- デイサービスに訪問しお年寄りとの交流を子どもたちが大変喜んでいました。
- 生田緑地へ全園児でお別れ遠足へ行く。長い距離もよく歩いて成長を感じた。
- 3月30、31日17:30～新年度の準備を行う。28年度にスムーズに移行できた
- こすもす保育園は駅近ではないが、自然や建物、地域の方々との関わりなど保育環境としては豊かで人材にも恵まれていることから保護者にも大変喜ばれている。今後も地域に求められる保育園として努力していきたい。
- 室内の乾燥を防ぐために加湿器を購入し、今年度はインフルエンザは流行しなかった。
- 会議・研修参加
 - ・多摩区公私立保育園園長会
 - ・多摩区幼・保・小連携会議
 - ・多摩区公私立保育園看護師連携会議
 - ・川崎市保育園職員研修
 - ・その他
- 川崎認定保育園B型からA型移行への申請書類作成
平成27年10月23日申請書提出

(10) 住みよいまちづくり事業

1) めだかの地域大学

地域において「生涯学習の場」、「情報交換の場」、「ひきこもり予防」等、「多様な参加の場」として、参加者の要望に基づいての継続的な教室を行いました。

8月29日 夏休み子ども料理教室 27名 (講師 多摩区ヘルスメイトの会)

12月23日 生田中学校吹奏学部演奏会 126名

2) 第13回三田ふれあいまつりの開催

地元「三田商店街」との連携による、まちの活性化と地域住民の暮らしのネットワークを目指しました。会場となった生田中学校特別創作活動センターでは、来場された方々の様々な交流を作ることが出来ました。

日時 平成27年11月1日(日) 午前11時～午後2時

主催 三田ふれあいまつり実行委員会

共催 NPO 法人秋桜舎・コスモスの家
コスモスの家を支える会

後援 川崎市多摩区社会福祉協議会

会場 生田中学校特別創作活動センター

参加者 約130名

内容

- バザー会場では、日用雑貨、お赤飯、いなり寿司、新米などを販売しました。
- 調理室では、喫茶室を開き、ケーキセット、トン汁セットの販売を行いました。
- 東北支援物資(ふりかけ、味噌)を南相馬市NPO法人あさがお、ほっと悠作業所より取り寄せ販売しました。
- 中2階円形広場では、五反田自治会婦人部によるコーラス、ハーモニカ演奏(ふれあいセンターハーモニカ愛好会)がありました。また、2階円形廊下では、宮前コスモスの家の絵画作品他とフォトギャラリーの展示をしました。
- バザーに来場された方々に三田まちづくりの花いっぱい運動の一環として、チューリップの球根を配布しました。
- 24店舗の商店が協賛して下さいました。(協賛金: フジ薬局、三田郵便局、理容室サワダ、まつもと美容院、双葉ハウス)
- コスモスの家関係者のおまつりから脱し、「三田地域全体で行事を共有できるような方向性」を目指しました。

3) 「三田まちづくり委員会」の取り組み 地域ネットワーク作り

○ 日常的なネットワーク作りが、地域の孤立問題や緊急災害時における課題解決に必要と考え、生田中学校、明治大学園田先生研究室と共催で地域住民の交流会を開催しました。

8月17日(月) だんご汁(すいとん)の会 40名

1月16日(土) 初がまの会 44名

(11) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

○研修会

日時 平成27年3月5日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 コスモスの家デイサービスセンターケア室

内容 「総合事業の展望と協働の地域づくり」

講師 濱畑芳和氏 立正大学社会学部准教授

主催 「介護保険制度をよくする会」

参加者 約24名

○ 福利厚生

健康診断補助(常勤スタッフ)

1年1回インフルエンザ予防注射

エプロン代1,000円補助

市民共済への加入

新年会の開催

○ 広報活動

コスモス便り 第102号春夏号 第103秋号、104冬春合併号を発行

○ 実習生・見学者の受け入れ

生田中学校 7名 職業訓練生受け入れ

○ 高齢者相談会

日時 毎月第4水曜日 14時～16時

場所 レイディアントシティ向ヶ丘遊園

内容 介護保険、医療機関の情報ほか、近隣の情報共有と交流

○ 「第21回社会福祉研究交流集会 in 埼玉」

日時 平成28年8月29日(土) 30日(日)

場所 立正大学・熊谷キャンパス

内容 社会保障改革において、介護保険制度と障害福祉施策が抱える問題

参加者 2名

○第13回「日韓こころの交流」シンポジウム

平成27年10月28日(水)

於 韓国崇實大学

内容 地域住民が主体となるコミュニティ・ケア

参加者 2名 理事長渡辺ひろみ シンポジスト こそもす保育園園長

2. その他事業

(1) 物品販売事業(住みよいまちづくり事業にて報告)

(2) スペース貸出し事業

○ ふれあいセンター施設利用 43件 前年比-2件

(韓国語を学ぶ会、第一生田ハイツ管理組合及び自治会、第二生田ハイツ自治会、三田台自治会及び婦人部、三田すこやか活動推進委員会)、ハーモニカ愛好会、レイディアントシティ向ヶ丘遊園自治会